

平成 26 年介護等体験談

社会福祉施設 1

5 日間、特別養護老人ホームいのこの里でお世話になりました。初めは今までにないぐらい緊張していて、5 日間どうやって乗り切ろうかと思っていたけれど、この機会を無駄にしないように、精一杯頑張ろうという気持ちで臨みました。実習生は私ともう一人の二人でした。

1 日目は指示を守って行動しようという気持ちが強すぎて、あまり積極的に動けませんでした。利用者さんの性格も様々で、よく話しかけてくださる方もいましたが、ほとんどの方は話しかけてくれませんでした。だからどうしたらいいのかと迷ってしまい、動けずにいました。すると職員さんが、「自分からどんどん話しかけてね」とおっしゃったので、勇気を出して話しかけました。視線を同じにして、しっかり目を見ました。

そうすることで、利用者さんが少しずつ話してくださるようになりました。中にはずっと話していたいからトイレやお風呂に行きたくないと行ってくださる方もいて、職員さんが「大学生の方が来るまで、こんなこと言ったことなかったよ」と笑っていました。

1 日目、2 日目が過ぎ、3 日目には言われずに行動できるようになりました。利用者さんも覚えてくださるようになり、楽しく会話ができるようになりました。「教員目指して、頑張ってるね」と応援もしてくれる方もいました。4 日目も同じように過ごしました。

でも、帰宅するととても疲れしました。そんな時、毎日働いている職員さんのすごさに気づきました。あんなに笑顔で毎日働いているのは、かなり体力を使うと思います。

私は実習生なので直接介護は行わずにコミュニケーションを中心としたことしかしませんでした、それでも毎日疲れしました。

今回この経験で介護職の大変さとやりがいを実感しました。そして教員との共通点を見つけました。人間関係が鍵となるということです。職員と利用者、教員と生徒、どちらも信頼関係を築かなければ成立しません。この経験を活かして、生徒たちに伝えられる教員になりたいと思います。